

iPhone

院内で iPhone を業務運用

当院では、2019年5月より院内 PHS に代わり 210 台の iPhone を導入しました。iPhone は NTTドコモ社の「オフィスリンク」により、外出先にいる職員と自由にかつ定額で通話できる上、全国どこでも内線番号での呼び出しができるため、院内外でのコミュニケーションが可能になりました。デバイスの設定やアプリの管理は CLOMO MDM(Mobile device Management) を用いて行っており、スマートデバイスに対してリモートで管理を行うことができ、組織内の個人やグループに対してブラウザから一括で端末情報の取得やプロファイルの適用、デバイスロックや初期化など、様々な指示を実行可能です。電話帳の管理は CLOMO Secured Contacts で行い、更新された情報が端末の電話帳に即時に反映され、これまで手作業で行っていた時間と労力を大幅に削減できました。またソフトウェアサービス「Newtons Mobile」アプリケーションにより、カルテ記事の参照や検査結果等の参照が可能となりました。そのほか、Advanced Media の音声入力を利用したカルテ連携やチャットツールを使用した院内コミュニケーションの改善など、現場では多くの恩恵を得られています。セキュリティ対策としては、悪意のある Web サイトへの接続を DNS でブロックする「Cisco Umbrella」を現在検証中です。iPhone の導入は、スマートフォンの利便性を最大限に活かすことで、院内外における業務の効率化が図られ、ひいては働き方改革の取り組みの一つにもつながっています。今後も現場の声に積極的に耳を傾け、IT とモバイルの有用性を活かした業務の効率化をさらに進めていきたいと考えています。

